



6月の園だより

学校法人志賀学園

松の実こども園

令和4年6月1日

紫陽花が色鮮やかに花を咲かせる季節を迎えました。土壌が酸性では紫陽花の花は青色になり、中性からアルカリ性では赤っぽい色になります。花の発色には、土壌中のアルミニウムイオンの量が主に関係しているということで、自然現象は不思議ですね。

例年、今の時期になりますと園庭では子どもたちが夢中になって虫探しをしています。プランターの下をのぞき込んでダンゴ虫を見つけたり、池の周りに生えているクローバーの葉っぱの茂みでアリを追いかけたり、木々に止まっているてんとう虫を捕まえたり、自然との触れ合いを思う存分楽しんでます。さくら組のお部屋ではオタマジャクシを水槽で飼い始めました。図鑑を見ながら、「エサは何をあげたらいいのかな？どんなカエルになるのかな？」と真剣に見入っています。「大きなオタマジャクシなので、ウシガエルかもしれない」とH先生。「フーちゃんという名前にしよう！でも、カエルになったら男の子だからフーくんになるんだよ！」とT君。「女の子だったらどうする？」とKちゃん。これから、何かと疑問に思いながら話したり調べたり、探求心が芽生えてくることでしょう。

さて、先日の遠足では清々しい青空の下、親子でダンスを踊ったりゲームをしたり、クラスのお友だちや先生と楽しいひと時を過ごすことができ良かったですね。お母様方との交流を深めることもできたようですね。ゲームのお題は、「①マリンタワーと②ゾウさんのオブジェと③園長先生を見つけよう！」でした。大人にとってはすぐに見つけられる物でも、小さな子どもたちにとっては、目線が低いのでなかなか見つけられないでいたお子さんもいたようで、ゲームとしては探す苦労と見つけた時の喜びを味わうことができたと思います。同時に、子どもに分かり易く話をするときは子どもの目線に立った説明の仕方が大事だということも感じました。新型コロナウイルス感染症も気にかかるころではありますが、今のところ保護者の皆様のご協力のおかげで最小限に抑えることができいております。今後共、感染対策に留意しながら子どもたちにとって楽しい経験をしていけたらと思います。また、暑くなって参りますので、熱中症予防の観点から、戸外ではマスクを外して遊ぶなど、安全管理にも気を付けて参ります。

6月21日(火)は一年で最も昼が長く夜が短い夏至です。夏至は二十四節気の一つでもあり、この日を境に昼間の時間が少しずつ短くなっていきます。夏至を過ぎると本格的に夏が来ると言われております。毎年梅雨の時期と重なることが多いですが、夕暮れ時の天気が良いれば、日の入りの瞬間を親子で見届げるのも良いですね。

